

幡多高校生ゼミナールの活動 核兵器禁止条約教材づくりに参加す の高校生たち

太平洋核被災支援センター事務局長 山下正寿

米国が実施した太平洋・ビ
キニ環礁の水爆実験について
1985年より調べてきた高
校生の平和学習グループ「幡
多高校生ゼミナール」が3年
ぶりに活動を再開し8月に広
島で開かれた全国高校生平和
集会に参加しました。

ビキニ事件が学べるビデオ
と補助資料を高校生たちと作
成しています。ビキニ核被災
者・遺族をはじめ世界の核災
難被災者の救済のために、ま
た「核兵器禁止条約」推進の
ネットワークを広げる大きな
力になると思っています。全
国高校生平和集会・
広島で出会ったアイ
ダ(セミパラチンス
クの留学生)を高知
に招いて交流が、9
月22、24日に宿毛湾
で行われました。



9月23日 幡多ゼミナール館
※核兵器禁止条約
教材DVDは幡多ゼミ
間の上网橋平さんと
撮影・編集の今城
隆の協力で完成され
「ビキニ事件と核兵
器禁止条約」の学習

参加者の6割はシニア女性。
岡山年金者組合から参加した
女性二人は「普段はうたごえ
喫茶チーム15名で『楽しくな
くては年金者組合ではない』
をモットーに頑張っています。
好きな歌「島唄」「芭蕉布」
二うたごえ喫茶チームのレッ
スン曲で歌っているうちに好
きになりました。今日とても
も楽しく歌えました。地元の一
活動のヒントをもらえました」
と話してくれました。

次号へつづく

お世話になりました

高教組委員長
竹島久美



高教組委員長として、六年
間この欄を担当させていただ
きました。この三月で退任
することになりました。
この六年間、教育現場が実
際に多忙であることが行政に
も世間にも認知されてしまし
ました。高知県において、臨
時教員の着任が四月一日にな
る。長年の有望事項であった
高知市内への知的障害児学校
新設が動き出すかもしれない
気配が出てきたなど、少しずつ

にも使用できません。海外版作
成には資金不足であり、制作
と普及にご協力お願いします。

問合せ先：今城 隆
(太平洋核被災支援センター事務局)
〒788-0273
高知県宿毛市小筑紫町福良 646-1
TEL 0880-67-1559
E-mail tina@alpha.ocn.ne.jp

日本高齢者大会 参加しました

小澤 幸次郎

第32回日本高齢者大会(参
加者はのべ3500名、高知
県からは22名)は2年ぶりに
11月25日(日)〜26日(月)
の2日間、静岡県熱海市で開
催されました。「まちから村
からの連帯でひとりぼっちの
高齢者をなくそう」を守るう憲

ながら、四月から新委員長の
もとで新たな体制を構築して
いきます。どうぞご協力よろ
しくお願いいたします。私も
もう一年、一執行委員として
はじっこの方で頑張ります。
不愛想な委員長でしたが、あ
なたかく見守っていただき、あ
りががとうございました。

今年も感動!

勇壮な鳥毛ひねり

秋葉まつり(二月十一日)

田中正

土佐三大祭りの一つとされ
る「秋葉まつり」を、今年も
訪れました。秋葉神社で祭ら
れ所を巡る奉納行
事なのですが、愉
やかな「油売り」、
華麗な「神輿」、
武者装束の子供た
ちの「太刀踊り」、
「鳥毛ひねり」な
どの「練り」が見
所です。私は、火
事装束の若者二人
が長さ7m近くの
毛槍を投げ合う
「鳥毛ひねり」を
毎年楽しみにして



法すべての世代の連帯でつく
るう安心して住み続けられる
まちづくり」大会の開催意義と目
的は、まず第一に「まちから
村からの連帯でひとりぼっち
の高齢者をなくそう」のスロー
ガンを実践し、国の責任を投
げ捨てた社会保障改悪をやめ
させ、充実を求める運動を強
化し、高齢者の要求を結集し
てゆく場とすること。第二に
憲法9条改悪阻止、沖縄の新
基地建設反対、憲法が輝く平
和な未来へ高齢者の意志を結
集し国民的な運動の一翼を担
う場とする。第三に高齢
者の運動交流しながら高齢期
運動の共同を広げ、全国で地
域連絡会づくりをすすめる力
とする。この3点でした。

全体会記念講演は、「ゆれ動
く世界経済と日本の行く末」
と題して浜矩子氏(同志社大
学大学院教授)、「現在世界
経済を大いにゆり動かすもの
が3つあります。キーワード
は「3つの綱引き」(光と闇)
(グローバル対反グローバル)
(愛国と愛僕)、そして(人
と人との絆はやみの中で輝く
希望)と結論づけられました。
場の企画の一つ(うたごえ広
場)に今年も参加しました。三
島どんぐり合唱団の生演奏
をバックに、ニューフジヤラ
グーンに110人のシニアの大合
唱団が響き渡る。

います。投げ手と受け手が息
をそろえて毛槍を投げ、成功
すると「うわー」という歓声
と大きな拍手が沸き起こりま
す。沢渡の「鳥毛ひねり」の
二人は渡りか去年と同じ青年、
上手くなっているな、などと
感心。この日のため何日もこ
の地に集まり、練習して、努
力して、成功し、快感の笑み
を交わす姿はなかなか魅力的
です。今年も、道から斜面的
降りて毛槍を無事受け止める
などの素晴らしいシーンもあ
り、興奮しました。

防火の神様だけに「秋葉ま
つり」の日は雪や雨が当たり
前、一昨年は大雪で中止、冷
たい風吹く仁淀川町の山沿い
で少し雨に打たれて、一時間
以上も「練り」が来るのを期
待して待ち続ける観衆(私も)
遠くから素朴な笛太鼓の音が
聞こえてくると、「もうすぐ
もうすぐ」と気持ちもワクワク
クしてきて、どこか
神聖な気にもなって
きます。
毎年同じ出し物を、
同じ場所で見、同
じように感激して、
また来年も、と思
いながら帰ってきたこ
とでした。